

2019年12月期 第1四半期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2019年5月14日

BIG IDEAS
FOR EVERY SPACE

2019年第1四半期決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標（以下Non-GAAPベース）を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値（GAAP：IFRS基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

IFRS適用と業績予想の方法・開示項目の変更

- 今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。
- 2019年12月第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値（GAAP）から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として一定のルールに基づいて控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上収益・半導体売上収益・売上総利益率・売上営業利益率を開示することといたしました。
なお、売上総利益率および売上営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。

2019年12月期 第1四半期決算概要

(IFRS、NON-GAAPベース*1*2)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期				
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 予想	第1四半期 (1-3月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比*3 (2/8時点)
売上収益	1,856	1,877	1,495 ~1,575	1,503	-19.0%	-20.0%	-2.1%
半導体売上収益	1,820	1,837	1,460 ~1,540	1,467	-19.4%	-20.1%	-2.2%
売上総利益率*3	47.5%	40.5%	39.0%	39.3%	-8.2pts	-1.2pts	+0.3pt
営業損益(率)*3	301 (16.2%)	194 (10.4%)	69 (4.5%)	72 (4.8%)	-229 (-11.4pts)	-123 (-5.6pts)	+3 (+0.3pt)
当期損益	252	72	-	66	-186	-5	-
EBITDA*4	537	434	-	323	-214	-110	-
1米ドル=	108円	113円	109円	111円	2円 円安	2円 円高	2円 円安
1ユーロ=	133円	130円	124円	126円	7円 円高	4円 円高	2円 円安

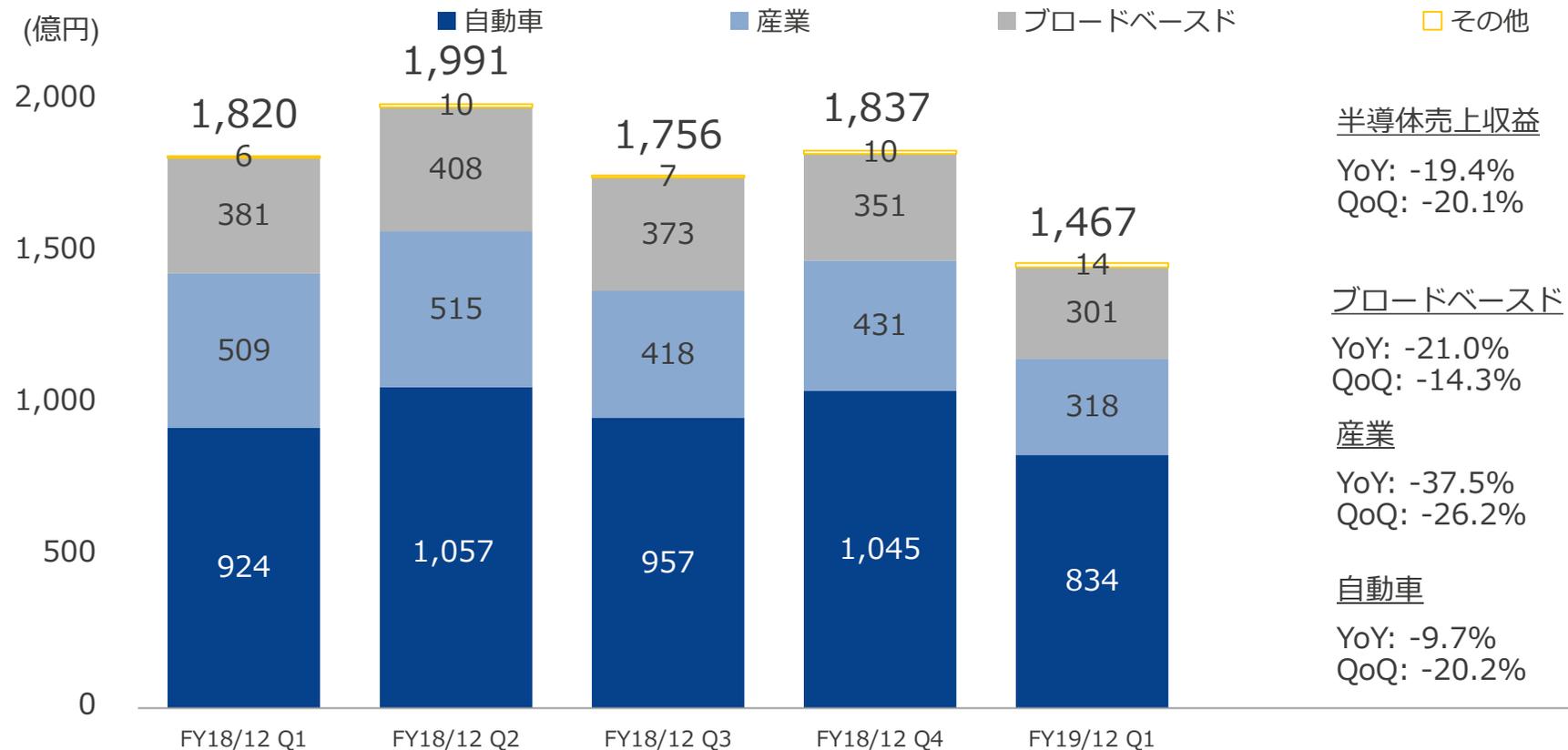
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっていません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比 *4: 営業利益+減価償却費及び償却費

半導体売上収益 四半期推移

(IFRS、NON-GAAPベース*1*2)



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

2019年12月期 第1四半期 売上総利益率

(IFRS、NON-GAAPベース*1*2)

売上総利益率

2018年12月期 第1四半期 実績 (2018年1-3月)	2018年12月期 第4四半期 実績 (2018年10-12月)	2019年12月期 第1四半期 予想 (2019年1-3月)	2019年12月期 第1四半期 実績 (2019年1-3月)
47.5%	40.5%	39.0%	39.3%

YoY: -8.2pts
QoQ: -1.2pts
予想比: +0.3pt

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

YoY -8.2pts

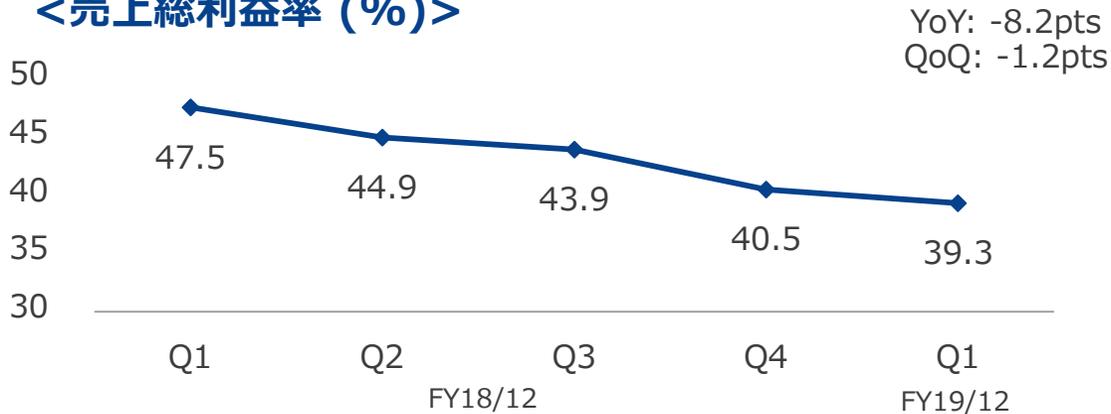
-  為替
-  売上減
-  生産数量変動
-  製造固定費・その他

QoQ -1.2pts

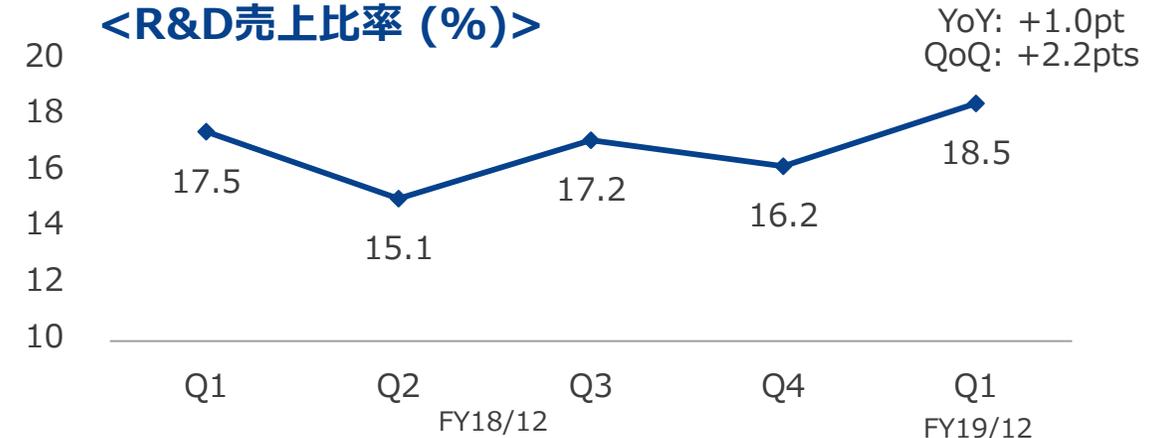
-  為替
-  売上減
-  生産数量変動
-  製造固定費・その他

売上総利益率・営業利益率・OPEX推移 (IFRS、NON-GAAPベース*1*2)

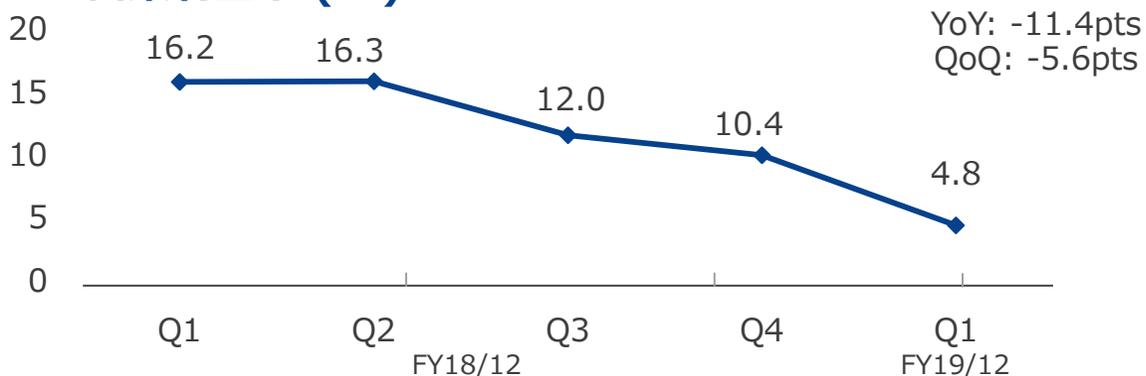
<売上総利益率 (%)>



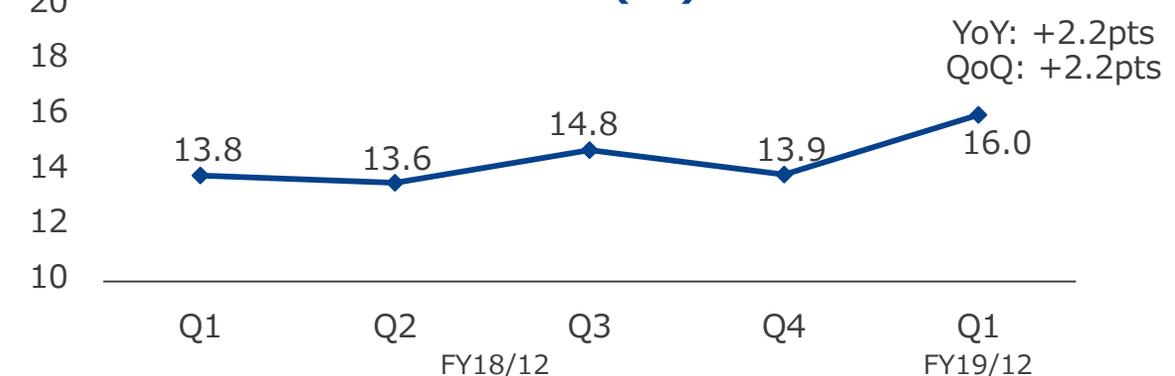
<R&D売上比率 (%)>



<営業利益率 (%)>



<SG&A・その他売上比率 (%)>



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

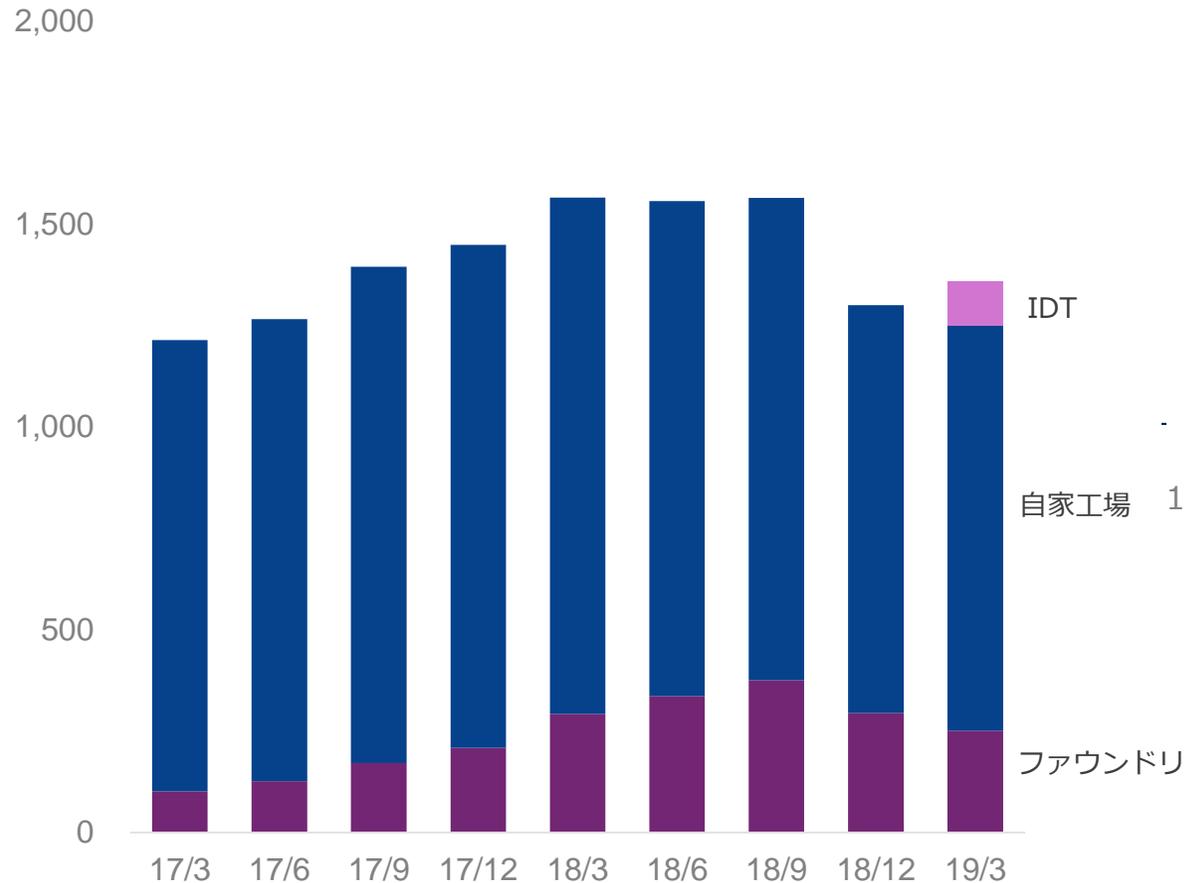
*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

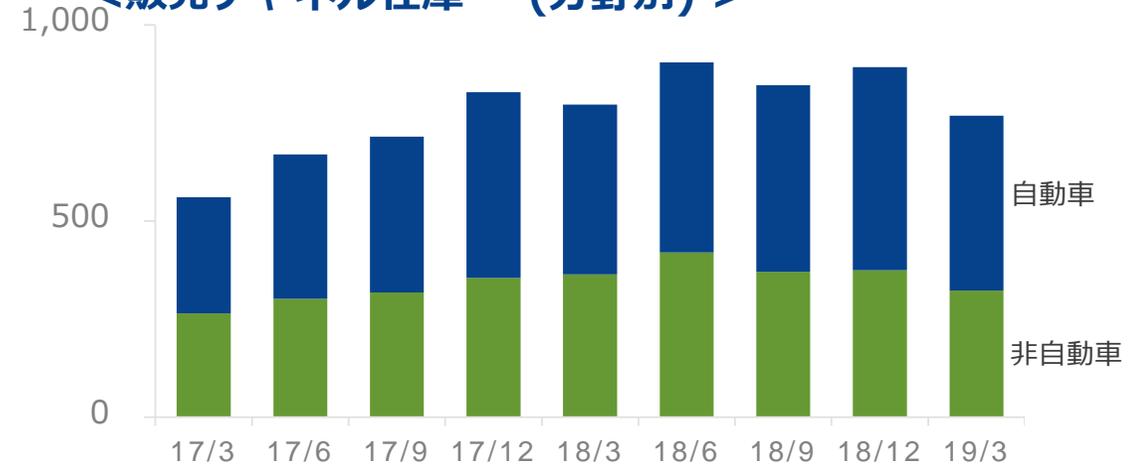
在庫状況

(管理会計ベース、億円)

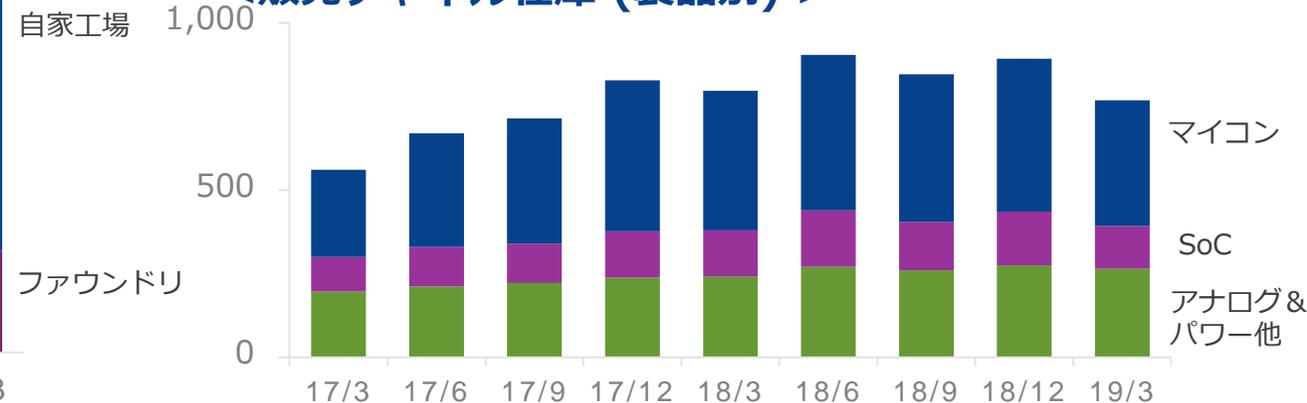
<当社在庫推移 (仕掛品 + 完成品)>



<販売チャネル在庫*1 (分野別)>



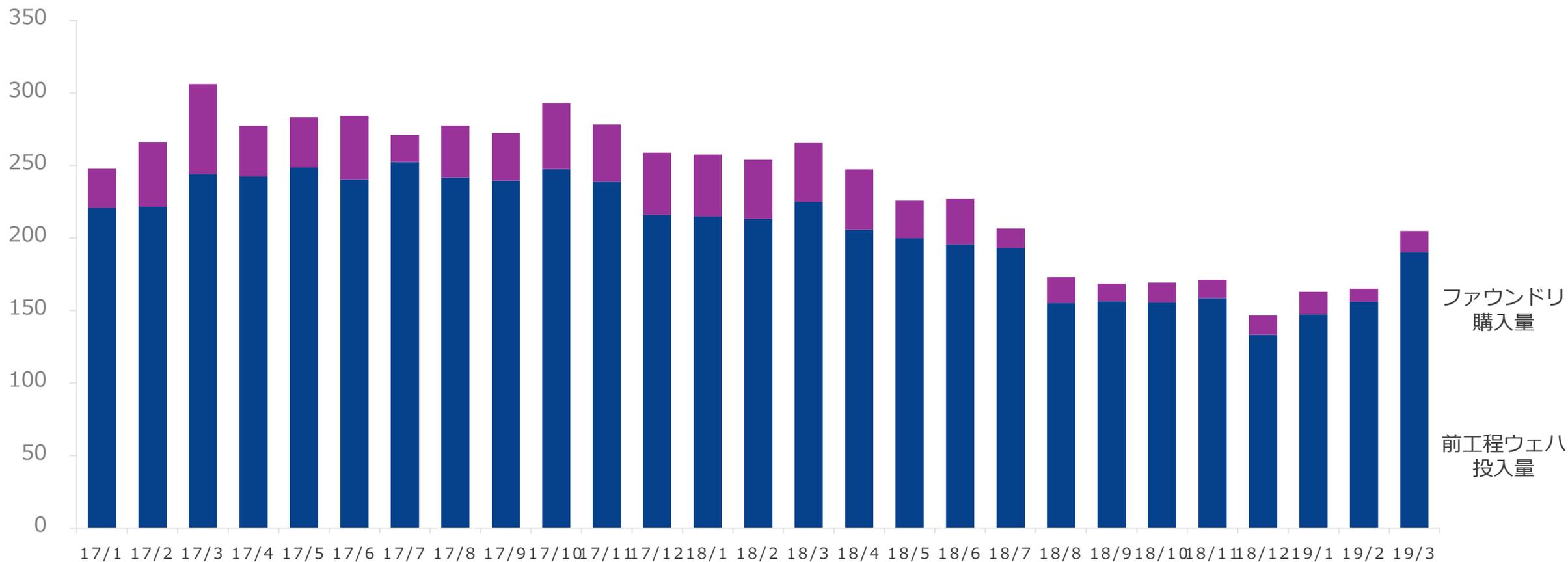
<販売チャネル在庫 (製品別)>



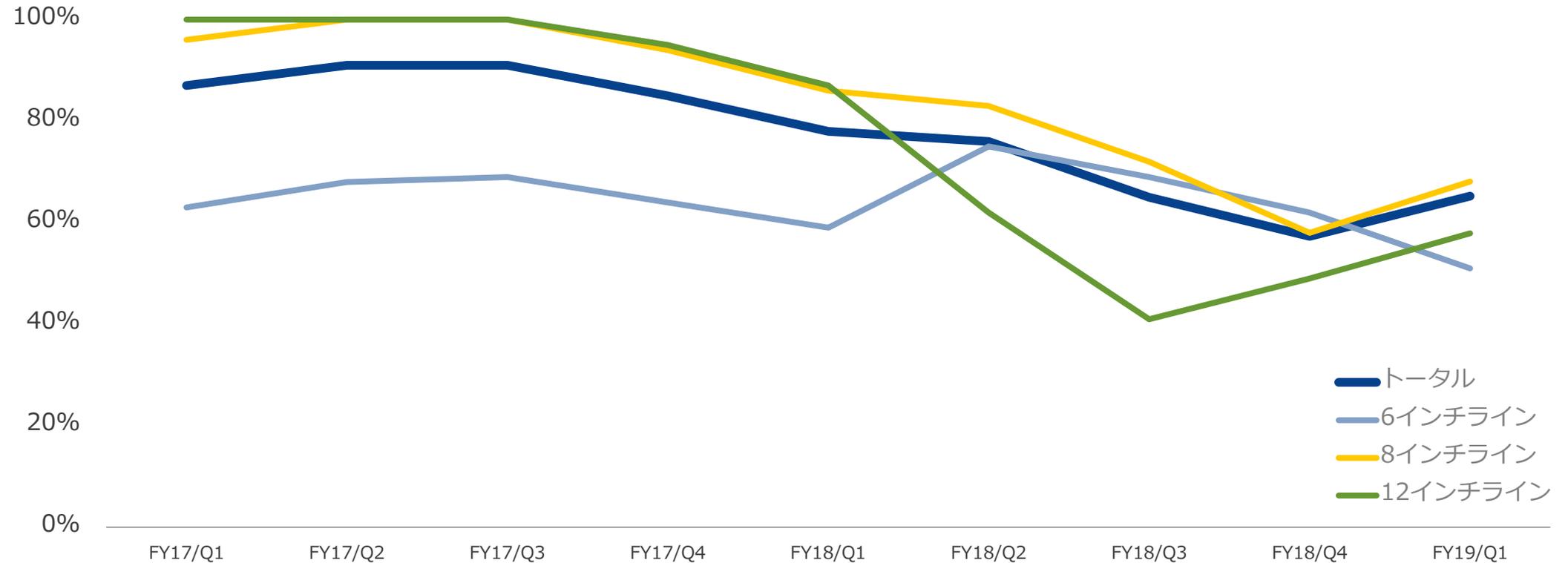
*1: 日系顧客向けの特約店16社の在庫総量

前工程ウェハ投入量および ファウンドリ購入量月別推移 (8インチ換算)

<千枚/月>

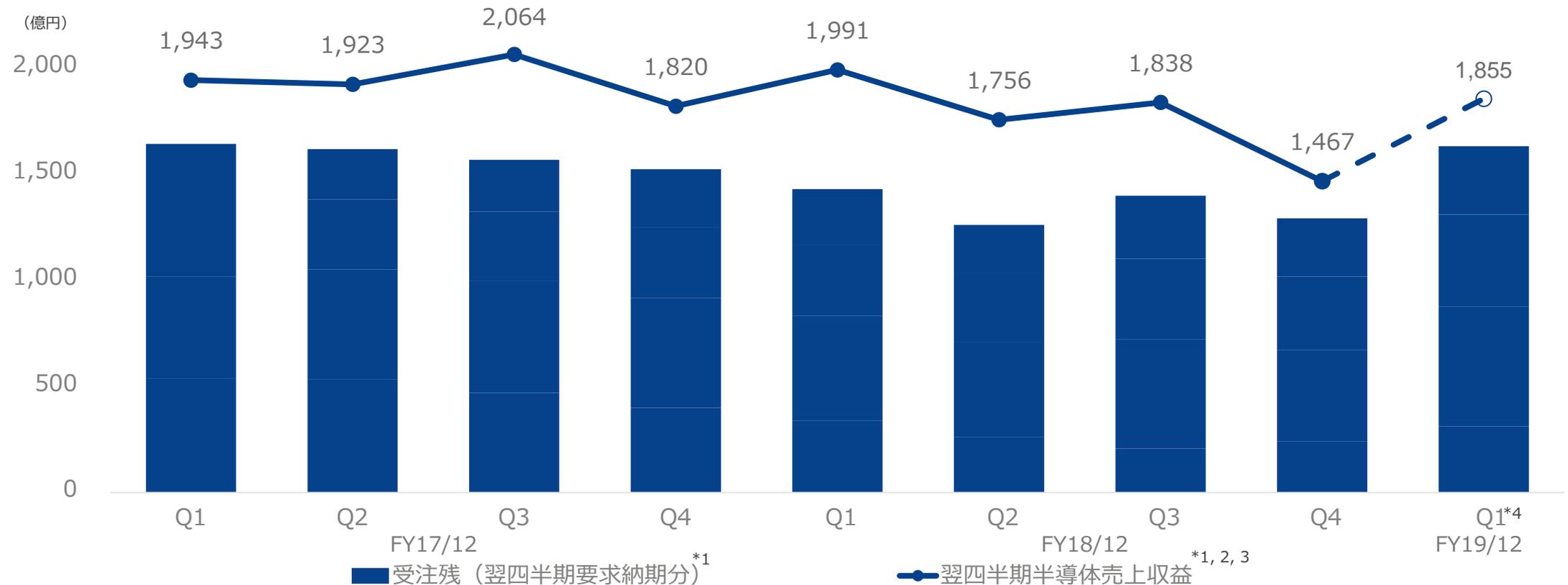


前工程稼働率四半期推移 (ウェハ投入量ベース)



各四半期末の受注残状況と翌四半期半導体売上収益

(受注残：翌四半期までの顧客要求納期分)



*1：為替レートは、実勢レートで計算しております。
 *2：FY17/12の数値はJ-GAAP (Non-GAAP) の翌四半期半導体売上高です。
 *3：各四半期の棒グラフの上に、翌四半期の半導体売上収益を折れ線グラフで表示しております。
 *4：FY19/12のQ1の受注残はIDT込みの数値であり、また翌四半期の半導体売上収益は予想の中間値です。

2019年12月期 第2四半期予想

(IFRS、NON-GAAPベース*1*2)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月) 予想	前年同期比	前四半期比	上期 (1-6月) 予想	前年同期比
売上収益	2,033	3,889	1,503	1,850 ~1,930	-5.1% ~-9.0%	+23.1% ~+28.4%	3,353 ~3,433	-11.7% ~-13.8%
半導体売上収益	1,991	3,810	1,467	1,815 ~1,895	-4.8% ~-8.8%	+23.7% ~+29.1%	3,282 ~3,362	-11.8% ~-13.9%
売上総利益率*3	44.9%	46.1%	39.3%	43.5%	-1.4pts	+4.2pts	41.6%	-4.5pts
営業利益率*3	16.3%	16.2%	4.8%	9.5%	-6.8pts	+4.7pts	7.4%	-8.8pts
1米ドル=	108円	109円	111円	110円	2円 円安	0円 円高	110円	1円 円安
1ユーロ=	131円	133円	126円	124円	7円 円高	2円 円高	125円	8円 円高

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

APPENDIX

本パートでは、主にGAAP（IFRS基準）準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

GAAP (IFRS)とNon-GAAP間の調整項目 (2018年12月期以降*1)

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。
具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA（取得原価の配分）の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。

(億円)	2018年12月期				2019年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上収益 (PPA調整後)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503
PPA影響(売上収益)	-	-	-	-	-
売上収益 (Non-GAAP)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503
売上総利益 (GAAP/PPA後)	867	908	789	759	572
PPA影響 (固定資産償却:COGS*2)	+3	+3	+3	+3	+3
株式報酬費用(COGS)	+1	+1	+2	+2	+2
その他調整項目*3(COGS)	+9	+0	-5	-5	+13
売上総利益 (Non-GAAP)	881	913	789	760	590
売上総利益率(Non-GAAP) (%)	47.5%	44.9%	43.9%	40.5%	39.3%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。
ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 売上原価

*3: 期間費用を平準化するための調整項目（税金等）が含まれております。

GAAP (IFRS)とNon-GAAP*1間の調整項目 (2018年12月期以降*2)

(億円)	2018年12月期				2019年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	234	328	131	-11	-13
売上総利益段階までの調整項目	+14	+5	-0	+0	+19
PPA影響*3 (無形資産償却 : SG&A*4)	+41	+37	+38	+39	+38
PPA影響 (固定資産償却 : R&D*5)	+1	+1	+1	+1	+1
PPA影響 (固定資産償却 : SG&A)	+0	+0	+0	+0	+0
株式報酬費用 (R&D)	+3	+5	+5	+5	+4
株式報酬費用 (SG&A)	+8	+8	+7	+7	+10
その他の調整項目*6 (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-8	-6	+27	+8
その他非経常項目*7 (SG&A、他)	+7	-46	+40	+126	+4
営業利益 (Non-GAAP)	301	330	215	194	72
営業利益率(Non-GAAP) (%)	16.2%	16.3%	12.0%	10.4%	4.8%

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2 : 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3 : PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。 *4 : 販売費及び一般管理費 *5 : 研究開発費

*6 : 買収関連費用や株式売出し費用に加え、期間費用を平準化するための調整項目 (税金等) が含まれております。 *7 : 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP (IFRS)とNon-GAAP*1間の調整項目 (2018年12月期以降*2)

(億円)	2018年12月期				2019年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
四半期利益(GAAP/PPA後)	186	316	118	-109	-18
営業利益段階までの調整項目	+67	+3	+84	+205	+85
純利益調整項目(PPA影響*3)	-	-	-	-	-
純利益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響)	-1	-6	-4	-24	0
四半期利益(Non-GAAP)	252	312	198	72	66
Non-GAAP EPS*4	15.1	18.7	11.9	4.3	4.0

*1：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値（GAAP:IFRS基準）から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA（取得原価の配分）影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2：2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3：PPA（取得原価の配分）の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

*4：基本的一株当たり四半期利益

2019年12月期 第1四半期決算概要

(IFRS*1)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 実績	前年 同期比	前四半期比
売上収益	1,856	1,877	1,503	-19.0%	-20.0%
半導体売上収益	1,820	1,837	1,467	-19.4%	-20.1%
売上総利益率	46.7%	40.5%	38.1%	-8.7pts	-2.4pts
営業損益(率)	234 (12.6%)	-11 (-0.6%)	-13 (-0.8%)	-246 (-13.4pts)	-2 (-0.3pt)
当期損益	186	-109	-18	-205	+91
EBITDA*2	515	271	280	-235	+9
1米ドル=	108円	113円	111円	2円 円安	2円 円高
1ユーロ=	133円	130円	126円	7円 円高	4円 円高

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 営業利益+減価償却費及び償却費

バランスシートの状況

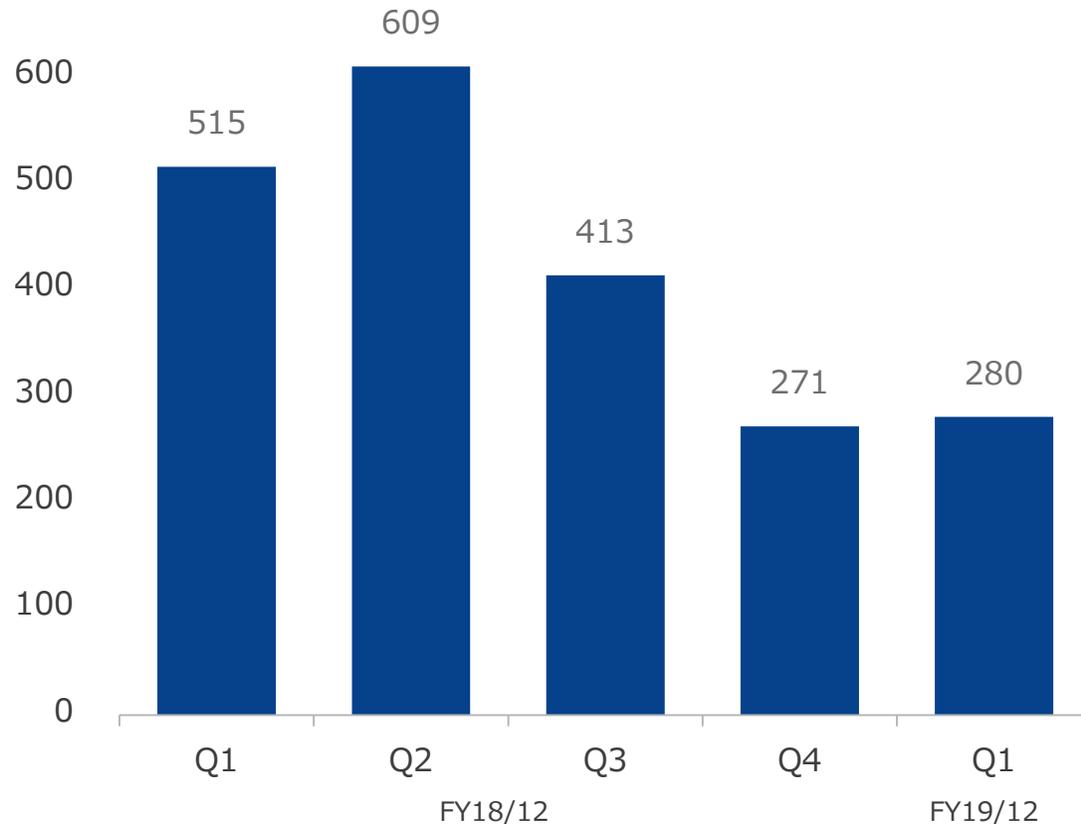
(IFRS*1)

(億円)	2018年 3月末	2018年 6月末	2018年 9月末	2018年 12月末	2019年 3月末 ^{*7}
総資産	10,857	11,197	11,253	10,552	18,432
うち 現金及び現金同等物 ^{*2}	1,243	1,603	1,845	1,888	1,967
うち たな卸資産	1,367	1,355	1,386	1,154	1,298 ^{*8} (IDT社連結前1,093)
うち のれん	1,792	1,865	1,916	1,872	9,108 ^{*9}
うち 無形資産	1,859	1,834	1,780	1,665	1,751 ^{*9}
負債合計	5,157	5,040	4,885	4,543	12,052
うち 有利子負債 ^{*3}	2,295	2,339	2,312	1,950	9,651
資本合計	5,700	6,157	6,368	6,010	6,380
D/Eレシオ (グロス) ^{*4}	0.40	0.38	0.36	0.33	1.52
D/Eレシオ (ネット) ^{*5}	0.18	0.11	0.07	0.01	1.21
自己資本 ^{*6} 比率	52.2%	54.7%	56.3%	56.7%	34.5%

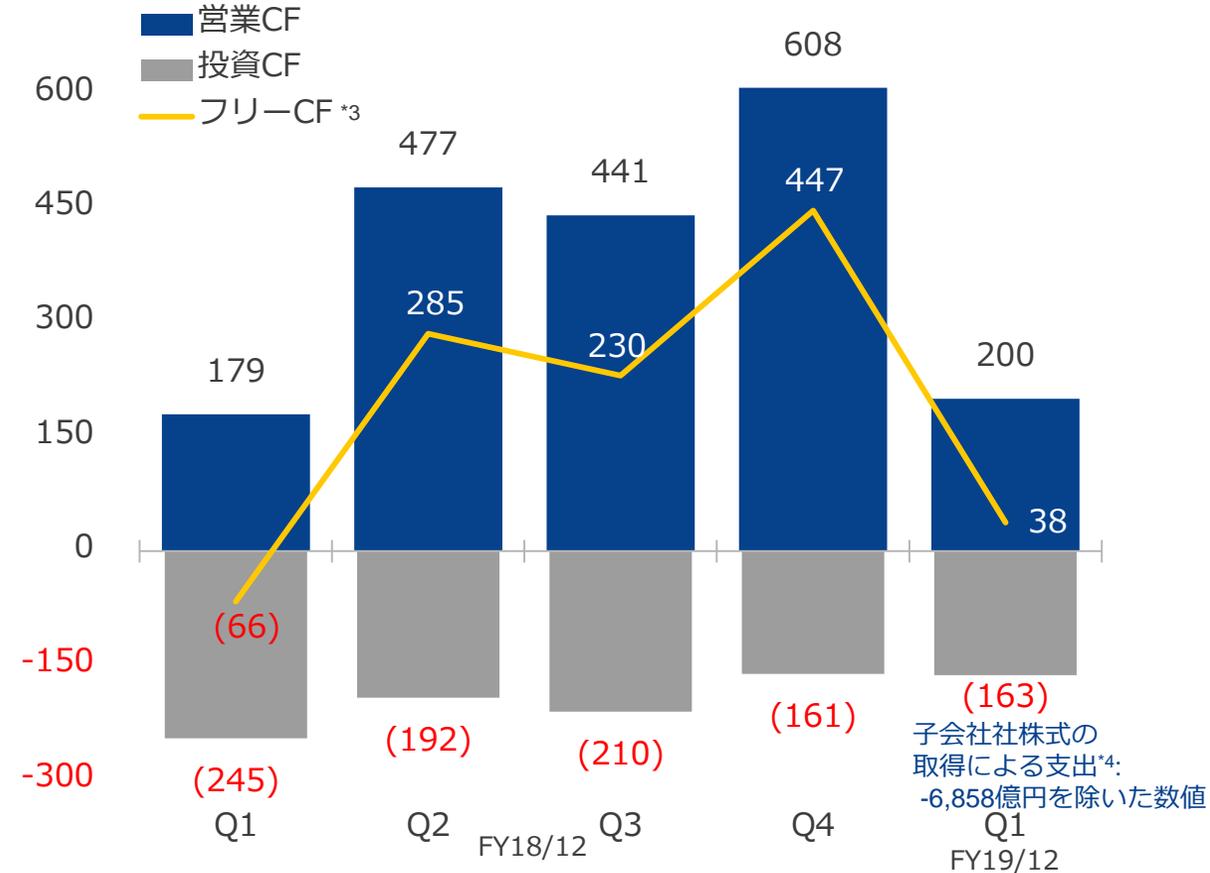
- *1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。
ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。
- *2: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。
- *3: 借入金(流動負債)+借入金(非流動負債)+リース債務(流動負債)+リース債務(非流動負債)+社債の合計
- *4: 有利子負債/自己資本 *5: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *6: 自己資本(親会社の所有者に帰属する持分合計)/負債及び資本合計 *7: IDT社連結後の数値
- *8: IDT連結前のルネサスの棚卸資産1,093億円+IDTの棚卸資産75億円+PPA(IDT社の買取にかかる取得原価の配分)影響(IDTの棚卸資産を公正価値評価)130億円
- *9: 2019年3月に買取を完了したIDT社の取得原価の配分が完了していないため、入手可能な情報に基づき、暫定的に算定された金額

EBITDA*1およびキャッシュ・フローの状況 (IFRS*2)

<EBITDA (億円)>



<キャッシュ・フロー (億円)>



*1: 営業利益+減価償却費及び償却費

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー *4: IDT社株式の取得にかかる支出

2019年度第1四半期のハイライト

(2019年1月1日～3月31日の主な広報発表)

経営

- IDTを63億米ドルで買収完了し、事業領域を拡大
- IDT統合を踏まえ、4月から新役員体制に移行、7月からは2事業本部体制へ

自動車

- 1チップで複数のシステムを動作可能にする仮想化をMCUで実現する仮想化支援機構を開発（国際学会のISSCC 2019にて発表）
- 世界で初めて、同仮想化技術を実装した28nm車載MCU「RH850/U2A」を発表、クロスドメインMCUとして車両内のECU統合が可能に

産業他

- Arm®コアを最大8コア搭載した高性能64ビットMPU「RZ/G2」を発売、産業オートメーション機器を、スマホのようなリッチなグラフィック表示に
- 世界で初めて、産業機器向け機能安全用ソフトウェアが国際規格*1を取得。新ソリューション「RX Functional Safety」を発売し、機能安全対応を加速
- ハイブリッドデジタル電源モジュールの新製品を発売し、サーバやストレージなど幅広い用途に使用されるFPGA、ASIC、メモリの電力効率を向上

*1: 「IEC61508 SIL3」のこと。電気/電子/プログラマブル装置を対象とする機能安全規格「IEC61508」の内、安全度水準（SIL : Safety Integrity Level）が4段階（SIL 1～SIL 4）で定められている。



BIG IDEAS FOR EVERY SPACE

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、

(4) 為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。